

## 第104回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	売掛金	備品
仮払消費税	航空機	建物	買掛金
備品減価償却累計額	未払消費税	仮受消費税	未払法人税等
売上割引	仕入割引	売上値引	受取利息
雑収入	仕入	仕入値引	租税公課
減価償却費			

1. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
2. 南雲航空株式会社は、決算（年1回決算）にあたり、1機当たり取得原価 ¥ 5,000,000 の航空機 6機について生産高比例法により減価償却を行った。なお、残存価額は取得原価の 10%、航空機 1機当たり総飛行可能時間は 60,000 時間、当期の平均飛行時間は 6,000 時間であり、直接法により会計処理をする。
3. 株式会社アパレル上杉は、決算にあたり、商品売買取引に係る消費税の納付額を計算し、これを確定した。なお、消費税の仮払分は ¥ 200,000、仮受分は ¥ 300,000 であり、当社は消費税の会計処理として税込方式を採用している。
4. 松平産業株式会社は、平成 21 年 8 月 19 日、得意先結城商店に対する売掛金を小切手で受け取った。なお、この売掛金は平成 21 年 8 月 1 日に販売した商品 ¥ 3,000,000 に対する債権であり、販売日の 50 日後に支払う契約であるが、販売日から 30 日以内に入金があった場合には、掛け代金の 2% の割引きを認める条件がついている。
5. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)